

回覧

2025 人權セミナー



たとえ昨日がどんなでも、明日はきつとええ日になる。

焼肉ドラゴン

真木よう子 井上真央 大泉 洋  
桜庭ななみ 大谷亮平 ハン・ドンギョ イム・ヒチョル 大江晋平 宇野祥平 根岸季衣  
イ・ジョンウン キム・サンホ  
原作:戯曲「焼肉ドラゴン」(作:鄭 義信) 脚本・監督:鄭 義信  
配給:KADOKAWA フォントム・フィルム 製作:「焼肉ドラゴン」製作委員会 助政:文化庁文化芸術振興費補助金



演劇賞を総なめにした伝説の舞台、待望の映画化!

©2018「焼肉ドラゴン」製作委員会

入場無料  
(予約不要)

2025年 8月10日 日  
栃木市大平文化会館

栃木市大平町蔵井2001-3 TEL 0282-43-5232  
※駐車場は台数に限りがありますので、なるべく乗り合わせて、ご来場下さい。

14:00~16:10

《映画上映会》

先着  
600名

- ◆12:30 開場 ◆13:00 開会
- ◆13:10~13:50 ミニコンサート
- ◆14:00~16:10 映画上映 終了後閉会

主催 / 部落解放同盟栃木市協議会 共催 / 栃木市・栃木市教育委員会

問合先

- 部落解放同盟栃木県連合会 TEL 0285-23-2215
- 栃木市生活環境部人権・男女共同参画課 TEL 0282-21-2161

13:10▶13:50

# ミニコンサート



## ◆プロフィール

第一線のソヘグム奏者として日本最大の豪華客船「飛鳥II」にスペシャルゲストとして乗船、船上コンサートを行うなど国内はもとよりピョンヤン、ニューヨーク、ソウル、北京、ミュンヘン、テルアビブなど世界中で活発な演奏活動を展開している。



- 片岡愛之助主演時代劇「鬼平犯科帳」テーマ曲演奏
- アニメ「ゲゲゲの鬼太郎」、「ナルト疾風伝」音楽製作参加
- 映画 木村拓哉主演「無限の住人」「焼肉ドラゴン」音楽製作参加
- BS時代劇「おいち不思議がたり」音楽製作参加
- 2011年6月 震災のため新潟朝鮮学校に避難していた福島朝鮮学校の子供達のためにチャリティーコンサートを行う
- 2025年3月 栃木の朝鮮学校でアンニョンコンサート開催

## ソヘグム奏者

河明樹 (ハ・ミョンス) 尹慧瓊 (ユン・ヘギョン)

### 主な演奏曲(予定)

トラジ(朝鮮民謡)	リベルタンゴ(ピアソラ)
韓国ドラマの世界	チョンダリ(ひばり)
川の流れるように	アリラン(朝鮮民謡)

## ソヘグム(小奚琴)とは



コリアンヴァイオリン

ソヘグムは朝鮮半島に伝わる伝統弦楽器 <ヘグム>の改良楽器です。

ヘグムは中国の二胡や日本の胡弓とはルーツが一緒で2本の弦の間に弓を挟んで演奏しますがソヘグムは弦が4本に増え弓も解放され、自由な演奏が可能になりました。

14:00▶16:10

# 映画「焼肉ドラゴン」上映会



「たとえ昨日がどんなでも、明日はきっと、ええ日になる」高度経済成長の片隅で描かれる、小さな家族の大きな歴史の物語。

万国博覧会が催された1970年。高度経済成長に浮かれる時代の片隅。関西の地方都市の一角で、ちいさな焼肉店「焼肉ドラゴン」を営む亭主・龍吉(キム・サンホ)と妻・英順(イ・ジョンウン)は、静花(真木よう子)、梨花(井上真央)、美花(桜庭ななみ)の三姉妹と一人息子・時生(大江晋平)の6人暮らし。

失くした故郷、戦争で奪われた左腕。つらい過去は決して消えないけれど、「たとえ昨日がどんなでも、明日はきっとええ日になる」それが龍吉の口癖だった。そして店の中は、静花の幼なじみ・哲男(大泉洋)など騒がしい常連客たちでいつも賑わい、ささいなことで、泣いたり笑ったり。そんな何が起きても強い絆で結ばれた「焼肉ドラゴン」にも、次第に時代の波が押し寄せてくるのだった。

■STAFF  
 原作・脚本・監督：鄭義信  
 撮影：山崎 裕  
 美術：磯見俊裕  
 照明：尾下栄治

録音：吉田憲義  
 装飾：中込秀志  
 編集：洲崎千恵子  
 音楽：久米大作

■CAST  
 真木よう子 井上真央 大泉 洋  
 桜庭ななみ 大谷亮平 大江晋平  
 宇野祥平 根岸季衣 イ・ジョンウン  
 キム・サンホ

■基本情報 2018年/128分  
 配給：KADOKAWA ファントム・フィルム  
 製作：「焼肉ドラゴン」製作委員会 オフィシャルサイト  
<http://yakinikudragon.com>

